

1. 理念・目的

1. 学院・大学の理念・目的・教育目標

◆学校法人西南学院の理念

学校法人西南学院は、「キリストに忠実なれ」の建学の精神に基づいて、真理の探求および優れた人格の形成に励み、地域社会および国際社会に奉仕する創造的な人材を育てることを使命とする。

◆西南学院大学の目的

西南学院大学は、キリスト教を教育の基本理念とし、深遠な学術研究とそれに立脚した教育を基盤に、学術文化の向上に寄与するとともに、地域、日本、そして世界に貢献できる教養豊かで深い専門知識と創造性を備えた人材を育成することを目的とする。

2 学部の理念・目的・教育目標

(1) 神学部

神学部は、聖書やキリスト教思想・哲学・芸術を中心とする学びを通して、キリスト教精神の本質を究明するとともに、この精神を担い、日本、そして世界の精神文化の形成、倫理・道徳の向上、平和と福祉の促進に貢献する人間を育成するために、「神学コース」と「キリスト教人文学コース」の2コースを置き、キリスト教界の指導者、教会の伝道者・牧師などの専門職業人、並びにキリスト教精神を基盤として社会に貢献する人材を養成することを目的とする。

(2) 文学部

文学部は、英語とフランス語に関する語学的知識の修得や実践的運用能力の養成を重視し、言語の本質や機能、英米やフランスの文学・文化・社会のあり方、人間関係、等について豊かな識見を養うことによって、グローバルな視野に立って日本のみならず世界で活躍できる人材の育成を目的とする。

この目的のもとに、「英文学科」、「外国語学科英語専攻」、「外国語学科フランス語専攻」を置き、異なった社会・思想・人間のあり方を多様な観点から総合的に理解しつつ自己認識を深め、幅広い教養と高い見識、旺盛な知的好奇心、自発性と創造性、等を涵養するよう努める。

① 英文学科

英文学科は、英語、英米文学・文化の教育・研究を通して、実践的な英語運用能力、広く深い教養と専門知識、豊かな感性と想像力、等を陶冶することに努め、グローバル化した社会の要請に応じうる人材を育成することを目的とする。

② 外国語学科英語専攻

外国語学科英語専攻は、英語学・英語教育、コミュニケーション学、ビジネス英語を教育・研究の柱とし、実践的な英語運用能力の育成を図るとともに、英語と文化や社会との関係を学び英語の特性を科学的に分析する能力を涵養し、社会の発展に寄与する自発的で創造性豊かな人材を育てることを目的とする。

③ 外国語学科フランス語専攻

外国語学科フランス語専攻は、実践的なフランス語運用能力の育成を基礎として、より総合的で創造的なコミュニケーション能力の修得へと導きながら、言語を取り巻く社会や文化のありようを理解し、自己と異なる他者を発見してこれと積極的に対話を行ない、国際化・情報化する世界の中で知的行動力をもって活躍しうる人材を育成することを目的とする。

(3) 商学部

商学部は、建学の精神に基づいて、高い倫理観と深い思考力を備えたビジネス・パーソンの育成を目的とする。具体的には、キリスト教学・商学・会計学・経営学・経営情報学の分野における高度な学術理論の教育と研究を通じて、経済社会に生起する問題の本質を正しく認識し、高度な倫理観に支えられた論理的な思考力をもって、新たな環境を積極的に創造する志の高いビジネス・パーソンを育成することで、広く社会への貢献を目指す。

① 商学科

商学科では、商学と会計学の分野における高度な学術理論の教育と研究を通じて、商取引に関する正しい理解を深めさせる。モノとカネの効率的配分や円滑な流通を目的とする商学と企業成果の計算・公表を目的とする会計学について教育することで、問題設定能力とその解決能力を有するとともに、経済社会に柔軟に対応でき、かつ、高い倫理観と高度な専門知識を身に付けたビジネス・パーソンの育成を目指す。

② 経営学科

経営学科では、経営学と経営情報学の分野における高度な学術理論の教育と研究を通じて、企業経営に関する正しい理解を深めさせる。現代の経済活動の重要な一翼を担っている企業の経営について、思想・戦略・組織・ヒト・モノ・カネ・情報・国際・環境などの観点から多面的に教育することで、高度な倫理観・理解力・構想力・表現力及び対人関係形成能力を備えた優れたビジネス・パーソンの育成を目指す。

(4) 経済学部

経済学部の理念は、経済学の基本的知識と特有の思考法を基礎とした、現代社会を生き抜く力の涵養であり、教育の目的は、社会における重要問題の所在を自ら発見し、それに関して必要となる事項を自ら調べる能力、そして、その結果を簡潔かつ明瞭に報告し、さらに問題に的確に対処できる能力を身に付けさせることを基礎として、社会の変動を正確に理解し、その展開過程に積極的に参画できる企業人、公務員その他の社会人を養成することにある。

① 経済学科

経済学科は、経済学の理論体系、実証分析、政策分析、経済の歴史的分析及び現実経済の把握に関する諸分野の科目を有機的かつ総合的に教授し、日本と地域社会を中心とした経済の仕組みの論理的構造と実態とを理解させるとともに、データを科学的に分析し、先入観にとらわれない合理的結論を導き出す経済学的思考方法を鍛錬することによって、種々の経済社会問題に対する実践的解決法を見出す能力を有する人材を育成することを目的とする。

② 国際経済学科

国際経済学科は、先入観にとらわれない合理的な経済学的思考方法の研鑽に加えて、国際社会の変化と国際経済及びビジネスのグローバル化の諸現象と相互の関連性、並びにそこから派生する諸問題の分析手法と対処方法立案の考え方を教授し、歴史・伝統・習慣・文化・宗教等の異なる諸外国との交流に役立つ語学力を基礎とした幅広い国際感覚を養成することによって、社会の国際化に寄与しうる人材を育成することを目的とする。

(5) 法学部

法学部は、法学及び政治学の専門学智を基礎に、多様な価値観の理解と、批判的思惟の力を育み、変容する現代社会の秩序構成に寄与できる識見を養うことを目的とする。

① 法律学科

法律学科は、法学及び政治学の専門学智を修め、伶俐な識見を養うとともに、多様な価値観への理解を促し、公共の精神の涵養に努め、変容する現代社会に対する批判的思考力を育み、多方面にわたる社会活動に貢献できる人格の育成を図ることを目的とする。

② 国際関係法学科

国際関係法学科は、社会の国際化に起因する諸現象を法的・政治的観点から学術的に深く掘り下げて理解しうる識見を養い、普遍的な視野と共生の精神の涵養に努め、多様な活動の場において国際共同社会の課題に取組み、異文化交流に貢献できる人格の育成を図ることを目的とする。

(6) 人間科学部

人間科学部は、キリスト教主義による人間教育の理念に基づいて、幅広く高い教養と人間に関する諸分野の学術的成果を習得させることによって、人間の生涯に亘る成長と発達についての深い理解、他者を受容し共感する能力、並びに地域社会、わが国と世界についての主体的思考力と総合的な判断力をもった個人を育成するとともに、とりわけ教育、保育、福祉の各分野において優れた働き手として貢献しうる専門家を養成することを目的とする。

① 児童教育学科

児童教育学科は、キリスト教主義による人間教育の理念に基づいて教育を行ない、教育・保育の分野に関する専門的知識と技能の習得を通じて、これらの分野の専門家である保育士、幼稚園教諭、小学校教諭などを養成するとともに、これらの専門的知識と技能を生かして社会に貢献しうる人間を育成することを目的とする。

② 社会福祉学科

社会福祉学科は、キリスト教主義による人間教育の理念に基づいて教育を行ない、社会福祉の分野に関する専門的知識と技能の習得を通じて、これらの分野の専門家である社会福祉士、精神保健福祉士、保育士などを養成するとともに、これらの専門的知識と技能を生かして社会に貢献しうる人間を育成することを目的とする。

(7) 国際文化学部

国際文化学部は、人類が今までに生み出し発展させてきた古今東西の文化を、地域文化、比較文化及び表象文化の視点から歴史的・総合的に捉え、地域と世界、文化と芸術に関する専門的知識と国際的な視野を持つことによって、地域社会及び国際社会に貢献し、現代世界において活躍する職業人及び文化の継承・発展と新たな文化の創造をなしうる学者・芸術家などの人材を育成することを目的とする。

3 大学院の理念・目的・教育目標

大学院は、本学の建学の精神に基づき、学術の理論及び応用を教授研究し、研究者としての深い学識及び卓越した能力を培い、また高度の専門性が求められる職業を担うための高度の専門的知識・能力及び卓越した指導力を育成し、文化の進展に寄与することを目的とする。

また大学院は、前述の目的を達成するため、創造性豊かな優れた研究・開発能力をもつ研究者、確かな教育能力と研究能力を兼ね備えた大学教員、高度な専門的知識・能力をもつ高度専門職業人、地域等の基盤社会を多様に支える高度で知的な素養のある教養人、などの人材を養成するものとする。

(1) 法学研究科

法学研究科博士課程(前期及び後期)は、法学、政治学の広範な領域に亘る通時的、共時的視野に立つ教育研究を通して、基礎法学、国内実定法学、国際関係法学及び政治学の各分野において、精深な学識をもって創造的学術研究を担う卓越した研究能力と教育ニーズに応え得る確かな教育能力を備えた研究者を養成するとともに、今後の知識社会の基盤を担う人権感覚と批判精神に富んだ知的人材を養成する。

(2) 経営学研究科

経営学研究科博士課程(前期及び後期)は、設置の趣旨に「社会と個人、個人と社会のこの分裂をいかに統合するかは共通の問題」、「企業等、巨大な組織の持つ合理性とそこに主体的な人間性の回復をいかに確立するかが主要な問題」と謳っている。現実の社会と企業との関わりに、倫理観を備える総合的かつ学際的な知識をもちながら、経営学、商学及び会計学の学理の先導性及び独創性を発揮しうる高度な専門的知識及び研究能力を併せもつ人材を養成する。

(3) 文学研究科英文学専攻

文学研究科英文学専攻博士課程(前期及び後期)は、英語を中心とする言語、文化及び表象に関わる学術の理論及び応用の基礎的及び先駆的な教授・研究の推進を通して、高度の専門的知識・能力を身につけ国際社会に貢献できる優れた研究者及び専門的職業人、などの人材を養成する。

(4) 文学研究科フランス文学専攻

文学研究科フランス文学専攻博士課程(前期及び後期)は、フランス語の深い知識及びテキスト読解を基礎として、フランス語圏の社会・文化的諸事象に関する専門的知識を涵養し、深い人間性の理解及び国際的視野を備えた優れた教育・研究者及び高度専門職業人、などの人材を養成する。

(5) 経済学研究科

経済学研究科博士課程(前期及び後期)は、国際社会のグローバル化に伴い国内社会の将来像が急速に不確実化する中、様々な職業分野で経済に関する高度な専門的知識に基づく意思決定が求められる時代的要請に応えるため、経済理論、経済政策及び国際経済に関する幅広く深い学識の涵養を図り、研究職を含む高度専門職を担う優秀な人材を養成する。

(6) 神学研究科

神学研究科博士課程(前期及び後期)は、聖書及びキリスト教思想・哲学を中心とする文献の研究を通じて、広い教養、高い倫理性及び総合的な判断力を身につけ、現代における人間の心、宗教及び社会の諸問題に柔軟に対応する優れた研究者並びに社会において中核的な役割を担いうる人材を養成する。

(7) 人間科学研究科

人間科学研究科博士課程(前期及び後期)は、現代社会の人間に関わる諸課題に取り組むことのできる高度な専門的知識及び研究能力を教授し、教育、社会福祉等の分野で、総合的判断力を要する高度専門職業人、先進的かつ総合的な課題に取り組む研究者、などの人材を養成する。

(8) 国際文化研究科

国際文化研究科博士課程(前期及び後期)は、人類がこれまで創造してきた伝統的な文化を地域文化及び比較文化の視点からとらえ、地域及び文化に関する高度な専門的知識と国際的視野を有して、国際社会に貢献でき、基礎的、先駆的な学術研究を推進する優れた研究者及び高度専門職業人、などの人材を養成する。

4 法科大学院の理念・目的・教育目標

法科大学院は、本学の建学の精神に基づき、法学分野における学術の理論及び応用を教授研究し、法曹に求められる深い学識及び卓越した能力を培うことを目的とする。

西南学院大学の沿革

2011(平成23)年5月1日現在

西暦(年号)	月	沿革
1916(大正5)年	2月	米国南部バプテスト派宣教師C. K. ドージャー氏が設立者となり、福岡市大名町105番地に私立西南学院設立認可
	4月	西南学院開院式
1918(大正7)年	1月	早良郡(現福岡市)西新町に移転
1921(大正10)年	2月	財団法人私立西南学院財団設立認可
	4月	西南学院高等学部(文科、商科)を専門学校令により設置
1923(大正12)年	4月	高等学部神学科増設
1944(昭和19)年	4月	西南学院高等学部を西南学院経済専門学校に改称
1946(昭和21)年	4月	西南学院経済専門学校を西南学院専門学校に改称
1947(昭和22)年	4月	西南学院専門学校第二部(英文科、経済科)増設
1949(昭和24)年	4月	西南学院大学学芸学部(神学専攻、英文学専攻、商学専攻)設置、W. M. ギャロット氏学長就任
1950(昭和25)年	4月	西南学院大学短期大学部(児童教育科、第二部:英語科、商科)設置
1951(昭和26)年	2月	財団法人私立西南学院財団を学校法人西南学院に組織変更認可
	4月	大学学芸学部を文商学部に変更
1952(昭和27)年	3月	大学1号館竣工
	4月	E. L. コープランド氏学長就任
	11月	坂本重武氏学長就任
1954(昭和29)年	3月	西南学院専門学校廃止
	4月	大学文商学部を文学部神学科、英文学科と商学部商学科に分離、文学専攻科神学専攻、英文学専攻および商学専攻科商学専攻増設
	10月	大学ランキン・チャペル(講堂)竣工
1955(昭和30)年	7月	干隈神学科本館竣工
1956(昭和31)年	12月	古賀武夫氏学長就任
1957(昭和32)年	12月	大学1号館(増築)竣工
1960(昭和35)年	11月	干隈総合運動場竣工
1961(昭和36)年	10月	大学学術研究所竣工
1962(昭和37)年	3月	短期大学部第二部(英語科、商科)廃止
	4月	大学商学部経済学科および大学商学専攻科経済学専攻増設
1964(昭和39)年	3月	大学商学部経済学科および商学専攻科経済学専攻廃止
	4月	大学経済学部経済学科および経済学専攻科経済学専攻設置、大学2号館・3号館竣工
1965(昭和40)年	4月	大学文学部外国語学科増設
1966(昭和41)年	3月	大学文学部神学科および文学専攻科神学専攻廃止
	4月	大学神学部神学科および神学専攻科神学専攻設置、大学商学部経営学科増設
1967(昭和42)年	4月	大学法学部法律学科設置、大学4号館竣工
1968(昭和43)年	9月	大学図書館竣工
	11月	大学6号館(元短期大学部校舎)竣工
1969(昭和44)年	4月	大学文学部外国語学科を英語専攻とフランス語専攻に分離、大学文学専攻科英語専攻およびフランス語専攻増設
	5月	川上太郎氏学長事務取扱就任、舩越栄一氏学長就任
	10月	大学体育館竣工
1970(昭和45)年	3月	大学電子計算機センター竣工
	4月	大学商学専攻科経営学専攻増設
	5月	大学水泳プール竣工
	8月	大学学術研究所(増築)竣工

2011(平成23)年5月1日現在

西暦(年号)	月	沿革
1971(昭和46)年	4月	大学院法学研究科法律学専攻修士課程設置
	6月	大学国際交流制度発足、大学5号館竣工
	7月	米国テキサス州バイラー大学との間に姉妹校宣言文を交換
	11月	大学西南会館竣工
1972(昭和47)年	3月	大学商学専攻科経営学専攻廃止
	4月	大学院経営学研究科経営学専攻修士課程設置、西南学院本部・大学本館竣工
1973(昭和48)年	4月	大学留学生別科設置
1974(昭和49)年	4月	大学院法学研究科法律学専攻博士課程および経営学研究科経営学専攻博士課程増設、大学文学部児童教育学科増設
	8月	大学自然科学館竣工
	10月	大学西南会館(増築)竣工
1975(昭和50)年	3月	短期大学部児童教育科廃止
1976(昭和51)年	4月	大学文学部国際文化学科増設、大学院文学研究科英文学専攻修士課程およびフランス文学専攻修士課程設置
	12月	村上寅次氏学長就任
1978(昭和53)年	3月	大学文学専攻科英文学専攻、英語専攻、フランス語専攻廃止
1979(昭和54)年	3月	大学合宿研修所竣工
1980(昭和55)年	4月	大学文学専攻科国際文化専攻設置、大学院文学研究科英文学専攻博士課程およびフランス文学専攻博士課程増設
	4月	大学院経済学研究科経済学専攻修士課程設置
1981(昭和56)年	8月	大学学術研究所・大学院校舎(増改築)および大学西南会館別棟竣工
	12月	田中輝雄氏学長就任
1985(昭和60)年	4月	博物館学芸員課程設置、大学文学部児童教育学科に小学校教諭免許課程設置
1987(昭和62)年	3月	百道浜校地を購入
	8月	大学新2号館竣工
	11月	大学ランキン・チャペル(講堂)にパイプオルガン設置
1988(昭和63)年	4月	大学経済学部経済学科を経済学専攻と国際経済学専攻に分離、大学神学部神学科に神学コースおよびキリスト教人文学コース設置
1989(平成元年)	9月	大学西南会館(増改築)竣工
1990(平成2)年	10月	大学電子計算機センターにパソコン・システム導入
1991(平成3)年	2月	大学特別教室竣工
	3月	西南学院本部・大学本館(増築)竣工
	5月	大学西南会館別棟(増築)竣工
	10月	大学学術研究所(増築)竣工
1992(平成4)年	4月	大学法学部国際関係法学科増設、大学院法学研究科法律学専攻博士前期課程社会人募集開始(昼夜開講)
	7月	大学図書館(増築)竣工
	11月	大学図書館(改築)竣工
1993(平成5)年	4月	大学院経済学研究科経済学専攻修士課程社会人募集開始(昼間開講)、大学国際センター設置
1994(平成6)年	10月	大学公開講座開始
1995(平成7)年	4月	西南学院大学総合情報ネットワークシステム(SAINS)導入
	7月	大学電子計算機センターを大学情報処理センターに名称変更
	11月	大学新1号館(I期)竣工
1997(平成9)年	2月	女子寮(汀寮)(建替え、移築)竣工
	4月	大学院文学研究科国際文化専攻修士課程増設、併せて社会人募集開始(昼夜開講)
1998(平成10)年	4月	大学院文学研究科英文学専攻博士前期課程およびフランス文学専攻博士前期課程社会人募集開始(昼夜開講)
	12月	村上隆太氏学長就任

2011(平成23)年5月1日現在

西暦(年号)	月	沿革
2000(平成12)年	4月	大学院文学研究科国際文化専攻博士課程増設
2001(平成13)年	2月	大学新1号館(Ⅱ期)竣工
	4月	大学文学部社会福祉学科増設、大学院経営学研究科経営学専攻博士前期課程社会人募集開始(昼夜開講)、西新キャンパスに大学神学部移転
2003(平成15)年	7月	岩間徹氏副学長就任、大学入試センター設置
2004(平成16)年	2月	大学インターナショナル・ハウス竣工
	3月	法科大学院棟竣工
	4月	大学院法務研究科法曹養成専攻専門職学位課程(法科大学院)設置
	9月	大学厚生棟(西南クロスプラザ)竣工
2005(平成17)年	3月	大学院棟竣工
	3月	大学文学部児童教育学科および社会福祉学科廃止、大学経済学部経済学科の経済学専攻および国際経済学専攻廃止
	4月	大学人間科学部児童教育学科および社会福祉学科設置、大学経済学部国際経済学専攻増設
	4月	大学院神学研究科神学専攻修士課程および人間科学研究科人間科学専攻修士課程設置、併せて社会人募集開始(昼夜開講)
2006(平成18)年	3月	大学文学部国際文化学科および文学専攻科国際文化専攻廃止、大学院文学研究科国際文化専攻博士課程廃止
	4月	大学国際文化学部国際文化学科および大学院国際文化研究科国際文化専攻博士課程設置、併せて大学院国際文化研究科国際文化専攻博士前期課程社会人募集開始(昼夜開講)
	4月	大学博物館(ドージャー記念館)竣工
	12月	G. W. バークレー氏学長就任、武井俊詳氏副学長就任
2007(平成19)年	3月	西南コミュニティーセンター竣工、大学博物館(ドージャー記念館)にパイプオルガン設置
	4月	大学言語教育センター設置、大学院神学研究科神学専攻博士課程および大学院人間科学研究科人間科学専攻博士課程増設
	7月	西南子どもプラザ(早良区子どもプラザ)設置
2008(平成20)年	3月	大学新チャペル(講堂)(建替え)竣工
	3月	男子寮(碧波寮)(建替え)竣工
	10月	大学田尻グリーンフィールド(西ゾーン)竣工
2009(平成21)年	4月	大学院経済学研究科経済学専攻博士課程増設
	10月	大学新チャペル(講堂)にパイプオルガン再設置
	11月	大学田尻グリーンフィールド完成(全面オープン)